

# キリスト教と環境問題

A. ニコラス上智大学教授

この二、三十年前から、今日の環境破壊の責任がおもにキリスト教にあると考える科学者やエコロジストが、米国の歴史家リン・ホワイ特などのように少なくありません。危機を招いたと主張するの

この破壊に、私たちキリスト者たちも責任があるの

は、言うまでもないことで

す。と、いう、そのような

一つも存在しないことが分

かれます。また、宗教の価

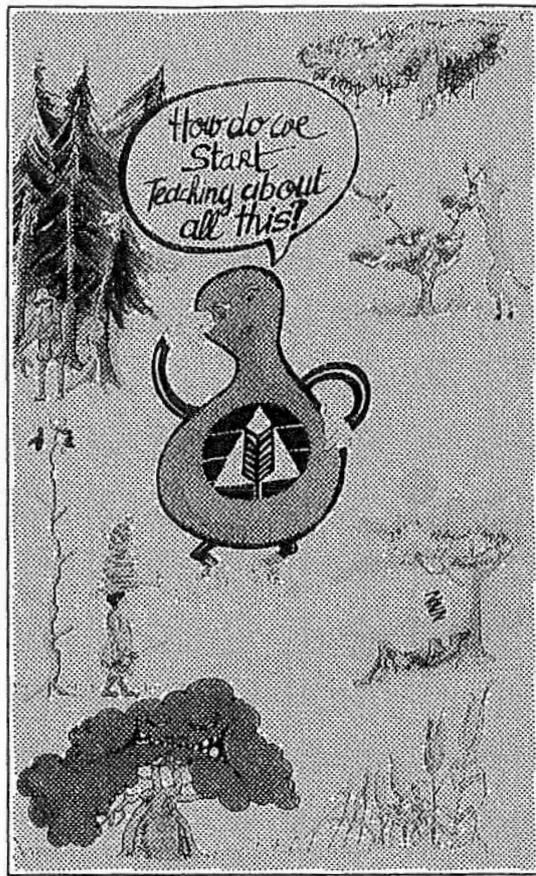
値と意義はそのメンバーの

人間的な弱さや罪にかかっ

てい、野蠻な

性情を人間化し、不調和を

## ①キリスト教は環境の敵？



環境への取り組みはアフリカでも始まっている。国際アグロフォレストリー調査協会(ケニア)のパンフレットより

批判は、主に創世記のあ

る言葉に集中されていま

す。そこで、その言葉の前

後関係を少し調べてみま

し

わかります。①すべての被

造物は神の愛と創造の行

から出てきます。そして神

は、すべての被造物を喜び

とします。そのようなもの

を、神がすぐに人間の乱用

に供するなどは信じられ

ないことです。②神はすべ

てのものの世話をし、それ

らに、創造的な心で、いの

ちとバラエティー、美と喜

びをお与えになります。人

間は主ではなく、管理人で

す。人間が中心ではなく、

神が中心です。被造物は人

間のものではなく、神のもの

なのです。ですから被造物

は大事に保護され、世話

され、生長させられるべき

ものです。③こうした使命

をゆだねられた人間は、被

造物とともに生き、かかわ

り、神の似姿として紹介さ

れます。④人間に与えられ

た最初の役目は、他の被造

物に名をつけることです。

名をつけることは、霊的な

交わりであり、連帯性のあ

る、家庭的で愛情のこも

た行為です。人間はあらゆる被造物と決定的な関係を有するものです。⑤創造が終わり、休息、サバトに入ります。静かで、楽しい交わりをもちます。神は毎晩、庭に降りてきて、人間と大自然とともに喜びを味わうわけです。このサバトの概念は非常に重要で、イスラエルの歴史にとって象徴的な意味を持っており、すし、土地や動物たちにさへも当てはめられます。そしてすべての自然と人間にとっての希望と解放の夢が現れています。

### 調和と希望のビジョン

聖書はこのような調和と希望のビジョンを発展させます。環境問題に目覚めることによって、私たちはみことばを新しい視点から読むことができるでしょう。批判を受けることにより、より深い知恵に至ることができれば幸いです。

### 「地を従わせよ」とは

一般的で根拠の薄弱な批判をそのまま受け入れることはできません。

このような批判をまぬが

れうるような国や文化が、

歴史を注意深く研究するこ

うかにかかっています。

いやす能力にかかっています。さらに、心と考え方を

変え、過ちをただすなどに

よって、すべての人の善に

貢献することができると

創世記には確かに「地を従わせよ」(1・二八)という言葉があります。そこ

を読むと次の五つのことが

「地を従わせよ」とは

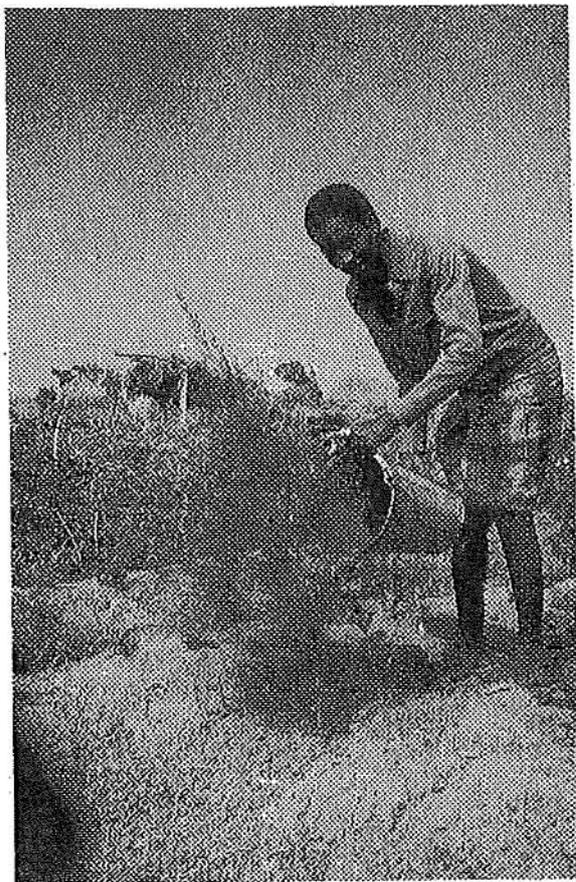
創世記には確かに「地を従わせよ」(1・二八)と

いう言葉があります。そこ

を読むと次の五つのことが

# キリスト教と環境問題

## A. ニコラス上智大学教授



植林後の管理も大切 (ソマリアの教会も緑化に力を入れている)

## ② 環境と南北問題

正義と平和と環境問題

環境の問題はいろいろなきまます。ある人々は大会

観点から取り扱うことがで

の考えを広めて、動物あるいは地球の権利について話

た人類全体の問題として捉え、全体的な解決に関心を

てしまった、そこに棲む人

うに人間の世界でも、貧しい人や国々が洪水や干ばつ

すべきです。

これら、そして他の環境問題の見方はすべて一つ

環境の問題は人間の窮乏や苦悩と離れたところには

境問題を正義や平和と結び付けています。地球の破壊

アメリカや日本の子供たちは、途上国の子供たちよりも

今は、これまでの誤った夢や空しいユートピアを批判する時ではありません。

最近の教会の宣言は、環境の問題を正義や平和と結び

付けています。

アメリカや日本の子供たちは、途上国の子供たちよりも

北の国々ですが、世界の国々の二五%が、世界のエネルギーの六〇%を消費して

化の時代です。この変化が、現実的であるためには、次のことが必要です。

① わずかの人々だけではなく、すべての人々が享受

現在の世界の生活水準の途方もない格差は、問題の根本的な解決を必要としま

す。わすかの物で生き延びようとしている貧しい国の

人々に、環境問題で圧力をかけることは公正ではありません。

間の尊厳にかかったものにして、

### 南北格差解消へ根本的解決を

の空気の汚れを嘆き、公園を増やすべきだと主張します。他の人々は、鯨や珍しい動植物の保護を訴えま

す。また他の人々は、倫理

(つづく)

# キリスト教と環境問題

A. ニコラス上智大学教授

環境に関する神学的考察は、最近広がりを見せてきました。聖書を注意深く読み、カトリックの伝統を研究することによって、新しい広がりや深みが生まれて

## 全地球を救う神

①受肉の奥義。最近、あらゆる環境に関して、受肉の深い意味が理解されるようになりました。神ご自身が

ゆるる生き物の壮大な歴史の中でキリストは宇宙のかしです。いま、この宇宙の歴史からであると語っています。

## 野の花、空の鳥

②イエスの生き方、行い、教えは大自然との深い

## ③ 環境問題と信仰



手まわしポンプは地下水の使いすぎを防ぐ (カリタス・ソマリア提供)

五〇七、『山上の説教』)。キリストのいやしと奇跡は、神のみ旨と神の国が人間の生き方全体と深くかかわっていることを表します。信仰は、心だけではなく体をもちやすことができます。また神の祝福は、心の落ち着いたときばかりでなく、嵐のあとの静かな湖のなかにも表れてきます。

## 滅びへの隷属から解放

④キリストの賜物は聖霊です。その聖霊は、私たちと教会や世界そのものを再創造しています。パウロはローマ書八章において、すべての被造物の中で、聖霊が嘆きの声を発していると言うことによって、いつか

## 死と復活の出来事

③キリストの死と復活は大地、空、光と闇、生と死のしるしで描かれています。これらすべては、イエスの死と復活が宇宙的な出来事であることを示しています。神はこの世にはいつてこられ、もはやこの世から去っていかれないのです。復活されたイエスは、私たちとともにいます。私たちが、一緒に祈り、食すとき、互いにいやしあい、ゆえに新しい生活に入り、この地球とその中の被造物に

## 以上のことは、私たちの

身がイエス・キリストに救うためであるということ。一致を明らかにしています。イエスは、美しい野の花や小鳥たちが神によってやさしく世話されていることを私たちが賛美し、信頼と希望のしるしとするように招いておられます(マタイ)。

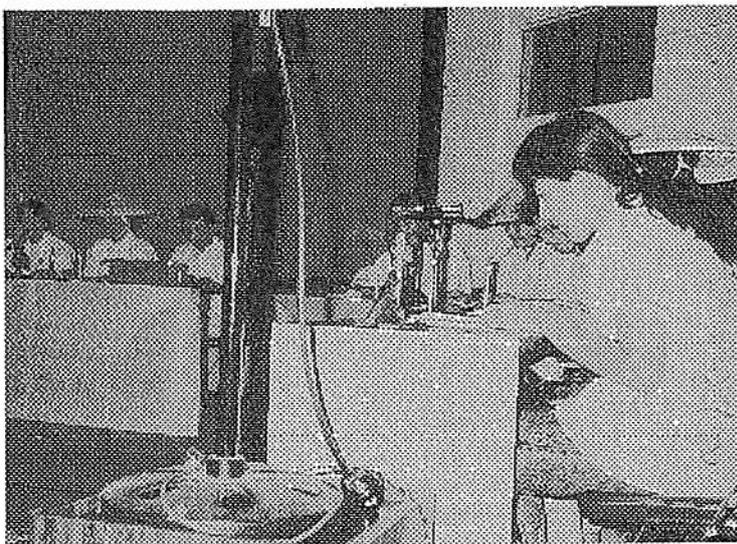
きました。ここで環境問題とのかかわりの中で、私たちの信仰の中心で最も重要なこと、すなわちイエス・キリストのことを述べておきます。



# キリスト教と環境問題

A. ニコラス上智大学教授

## ⑤ より人間らしく 生きることによって 地球を救う



水俣病患者も参加し「じゃなかしゃば」  
(別の世の中) をめぐそうと訴える朗読  
劇 (1989年8月 PP21水俣で)

このシリーズの最後に、環境のための活動について考えてみましょう。具体的活動については多くの本で述べられています。それはたいい善意と常識に

て、自足的な生き方を身に つけるように求めています。そして、大自然からの疎 外ではなく、すべての被造 物との連帯性を身につける ように呼びかけています。

限られた土地などへの尊重 とそれらを賢明に管理する 生き方、生命の価値と尊 厳、仕事とレジャーと共同 体のバランスのとれた生き 方に基づいています。ま

基づいたものです。その中 のあるものは科学的批判的 な評価が望まれる点もあり ます。ここではキリスト者 として、どういふ分野で貢 献できるかについて考えて

な基礎に根ざした考え方を 養うように、人々を招いて います。また地球の資源の 無責任な乱用をやめて、い のちと大自然を尊敬するこ とを、利己的な野心を捨

②これらのことを実現す るためには、個人ばかりで なく、特に国家、企業、団 体のために新しい倫理を作 りあげることが必要になり ます。その倫理は、資源や

た、このような新しい倫理 は、国や文化を越えた真の 国際性を持つ倫理でなけれ ばなりません。大自然には 国境がないからです。

③以上のことを養い育て しっかりととりもどすこと

に招かれています。とくに ミサはキリストにおいて、 すべての現実が和解して一 つになる時です。神と人、 キリストと教会、パンと 愛、ワインとゆるし……ミ サは、預言的なシンボルで す。イエス様が、食物や飲 食物、大地からの果物や人 々の手になるものでなさっ たように私たちも典礼にも っと自然のものを生かす必 要があります。

④礼拝と秘跡は、私たち の信仰と希望と価値観を体 全体で表したものであり、 私たちは神に向かい、キリ ストにおける救いを祝いま す。そこでは初めから、こ の世のもの、つまり水、 油、パン、ぶどう酒、食

⑤より健康な環境を取り 戻すために、『神の庭』を 世話するすべての人々とと もに、私たちは自分の限 界、意識、協力関係を広げ ていく必要があります。私 たちがひどく傷つけてしま ったこの地球は、国家や宗 教の違いを超えて、ともに 働くなら、私たちは生ける 神に協力することになるで しょう。

(おわり)